

総合問題② (Leçon 4~6) 解答と解説

I. 5問×各4点=20点 II. 5問×各4点=20点 III. 5問×各4点=20点 IV. 4問×各5点=20点 V. 4問×各5点=20点

I. 1) La porte est ouverte par mon père. 「扉は父の手によって開かれる」	主語 la porte は女性名詞単数。過去分詞は主語と性数一致するので、女性単数-eをつける。
2) Jean n'est pas invité au restaurant par Nelly. 「ジャンはネリから食事に招待されていない」	主語 Jean は男性。否定文では助動詞を ne と pas ではさむ。
3) Cette lettre a été écrite par Hugo. 「この手紙はユゴーによって書かれた」	受動態の複合過去形は「avoir+été(être の過去分詞)+動詞の過去分詞」となる。主語 cette lettre は女性名詞単数で受動態の助動詞 être があるため、écrire の過去分詞に女性単数-eをつける。
4) Charles de Gaulle est connu de tout le monde. 「シャルル・ド・ゴールは皆に知られている」	主語 Charles de Gaulle は人名(男性)。感情や状況を表す動詞 connaître があるため、前置詞は par ではなく de をとる。
5) La route a été fermée pour les travaux. 「あの道は工事のため封鎖された」	受動態の複合過去形は「avoir+été(être の過去分詞)+動詞の過去分詞」となる。主語 la route は女性名詞単数で受動態の助動詞 être があるため、fermer の過去分詞に女性単数-eをつける。一般的な人を表す on は受動態の文では省略される。

II. 1) C'est ce bouquet que je donne à Zoé. 「私がソエに贈るのはあの花束だ」	下線部が主語ではないので、 強調構文「C'est +主語以外+ que(qu') ~」を用いる。
2) C'est aujourd'hui qu'elle part pour la France. 「彼女がフランスに出発するのは今日だ。」	下線部が主語ではないので、 強調構文「C'est +主語以外+ que(qu') ~」を用いる。
3) C'est à sa sœur que Philippe a téléphoné hier soir. 「昨夜、フィリップが電話したのは、彼(女)の姉(妹)だった」	下線部が主語ではないので、 強調構文「C'est +主語以外+ que(qu') ~」を用いる。
4) C'est moi qui n'aime pas les fraises. 「いちごが嫌いなのは私だ」	下線部が主語なので、 強調構文「C'est +主語+ qui ~」を用いる。
5) C'est ce sac qu'il a acheté aux Champs-Élysées. 「彼がシャンゼリゼ大通りで買ったのはあのカバンだ」	下線部が主語ではないので、 強調構文「C'est +主語以外+ que(qu') ~」を用いる。

III. 1) Ne mange pas en regardant la télé. 「テレビを見ながら食べないで」	同時性「~しながら」
2) En arrivant à Paris, on aperçoit la tour Eiffel. 「パリに着くと、エッフェル塔が見えます」	同時性「~するとき」
3) En prenant le bus, tu pourras arriver à l'heure. 「バスに乗れば、時間通りに着きます」	条件「~すれば」
4) En étant malade, elle n'est pas sortie de chez elle. 「病気だったので、彼女は家から出なかった」	理由「~なので」
5) Tout en faisant beaucoup de sport, il est gros. 「たくさんスポーツをしているのに、彼は太っている。」	譲歩・対立「~しても、なのに」

<p>IV. 1) La Seine est moins longue que la Loire. 「セーヌ川はロワール川より短い」</p>	<p>ロワール川(1,006km)はフランス第 1 の長流で、セーヌ川(776km)はフランス第 2 の川である。劣等比較の moins を用いる。</p>
<p>2) La santé est plus précieuse que la richesse. 「健康は富よりも大事だ」</p>	<p>健康(la santé)が富(la richesse)より優位に置かれているので、優等比較の plus を用いる。</p>
<p>3) Marie est aussi jeune que Chloé. 「マリはクロエと同じくらい若い」</p>	<p>「同じくらい若い」とあるので、同等比較の aussi を用いる。</p>
<p>4) Cette pomme est meilleure que l'autre. 「このリンゴはもう一方よりおいしい」</p>	<p>形容詞 bonne が用いられ、主語のリンゴ(cette pomme)がもう一方(l'autre)より優位に置かれているので、bonne の優等比較 meilleure を用いる。</p>

<p>V. 1) Elle est la plus intelligente de la famille. 「彼女は家族の中で一番かしこい」</p>	<p>形容詞の最上級の定冠詞も女性単数形の la を用いる。</p>
<p>2) Sarah parle italien le plus couramment de la classe. 「サラはクラスの中で一番流暢にイタリア語を話す」</p>	<p>副詞の最上級の定冠詞は、常に le を用いる。</p>
<p>3) La cuisine française est la meilleure du monde. 「フランス料理は世界で一番おいしい」</p>	<p>形容詞 bonne の優等比較級は meilleure。meilleure は女性単数形なので最上級の定冠詞も la を用いる。</p>
<p>4) C'est Louise qui écrit le mieux de son lycée. 「リセの中で一番達筆なのはルイズです」</p>	<p>副詞 bien の優等比較級は mieux。また副詞の最上級の定冠詞は、常に le を用いる。</p>